

リッジアイ、複数の専門解析 AI を統合しインテリジェンス業務を 効率化する生成 AI 基盤「Zeus」を提供開始

～マルチインテリジェンス時代の情報分析を、オンプレミスからクラウド環境等
様々な環境で実現～

AI・ディープラーニング技術のコンサルティングと開発を行う株式会社 Ridge-i（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柳原 尚史、以下「リッジアイ」）は、複数の専門解析 AI を統合し、衛星画像解析からレポート作成等の一連の分析業務を自動化する生成 AI 基盤「Zeus（Zero-shot Entity for Universal-earth-understanding System）」を2026年6月15日より提供開始します。Zeusは、機密性の高い環境でも利用できるよう、オンプレミス環境で動作する「Zeus Edge」と、クラウドで動作が可能な「Zeus Cloud」の2形態で提供します。

■開発の背景

近年、安全保障環境の複雑化を背景に、情報収集・インテリジェンスへのニーズが急速に高まっています。同時にデータソースは多様化し、通信・電磁波、衛星画像、インターネット上の公開情報といった異なる領域の情報を横断的に突合し、その関連性と意味を見出す「マルチインテリジェンス」が不可欠になっています。こうした環境では、各領域に特化した専門解析 AI と、それらを横断して推論する仕組みの双方が求められます。さらに、どの情報をどの順で評価し、何を重視するかという現場の判断プロセスそのものをシステムに反映できなければ、分析の質と速度は実務に耐えません。リッジアイは、自社の衛星画像解析ソリューション「Ridge SAT Image Analyzer（RSIA）」をはじめ、通信・電磁波、インターネット上の公開情報等の専門解析 AI を束ね、現場の知見を独自のプロセスとして組み込める生成 AI 基盤として「Zeus」を開発しました。

■「Zeus」の特長

- 複数の専門解析 AI と統合するオーケストレーション機能を搭載**：衛星画像解析や通信・電磁波解析等、複数の専門解析 AI を連携させ、単一モデルでは得られない横断的な分析から、実務に即したレポートの自動作成までを一気通貫で実現し、業務効率を大幅に向上させます（対応領域の詳細は個別にご相談ください）。
- 完全オフラインからクラウド環境まで適用可能**：機密環境向けの「Zeus Edge」は外部ネットワークから完全に切り離された環境で動作します。「Zeus Cloud」は最新のモデルや大規模な計算環境にアクセス可能なクラウド環境で提供が可能です。
- 組織のデータを知識として活用**：PostgreSQL 等の各種データベースへの接続に加え、PDF・PowerPoint・Word 等の文書を取り込んで、自組織の知識として活用できます。RAG 機能により、現場の知見に基づきチャット形式で回答します。

4. **FDE (Forward Deployed Engineer) による現場実装**：エンジニアが現場の運用に伴走し、誰がどの順序で何を重視して判断するかという現場固有のプロセスを Zeus 上に実装します。

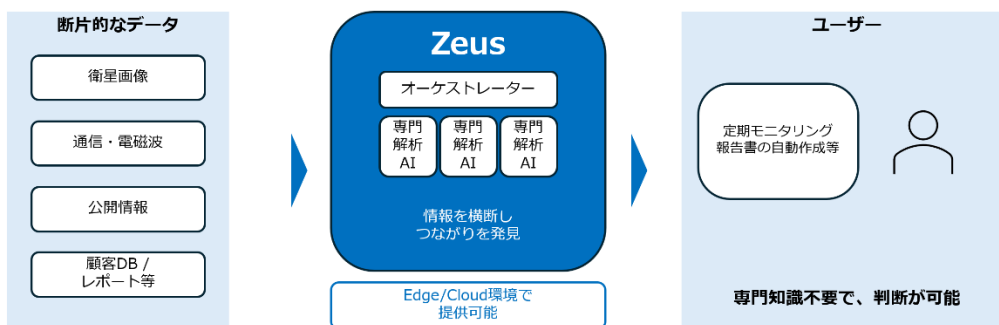
■ 想定する利用シーン (例)

- **定点モニタリングとアラート**：衛星画像解析ソリューション「RSIA」と連携して特定の物体・施設を継続監視し、変化を検知した際に自動でアラートを発出。
- **複数ソースの突合による海域監視**：衛星画像と過去の報告書を突合し、過去存在していなかった物体を検知する等、単一ソースでは捉えられない事象をマルチインテリジェンスとして把握。
- **報告書の自動作成**：定常的な業務報告書のドラフトを Word/PowerPoint 形式で自動生成。担当者は必要に応じて修正し報告に活用。
- **公開情報を含むデータ検索**：Zeus Edge ではクローズド環境に保管した衛星画像等のメタデータ等を元に自然言語で検索。Zeus Cloud では、連携プロバイダのデータやインターネット上の公開情報を曖昧な条件からも検索可能。

■ 今後の展望

今後は、Zeus が統合するインテリジェンス領域を順次拡大していきます。現在の衛星画像・通信、電磁波・インターネット上の公開情報に加え、船舶・航空機の動態データ (AIS〔船舶自動識別装置〕等)、各種センサーデータへと対応を広げ、地理空間情報にとどまらない包括的なマルチインテリジェンスの実現を目指します。あわせて、自社開発モデルのみならず他機関や他社が開発した専門解析 AI をプラグインとして組み込める基盤へと発展させ、利用組織が自らの判断プロセスとデータ資産に最適化した分析環境を構築できるようにしていきます。

■ リッジアイが目指す Zeus を使った業務フローイメージ



※ 専門解析AIはオプションでの追加提供となる場合がございます

■ 導入方法

実施したい解析やシステムとの統合方法について最適なプランをご提案いたします。以下のリッジアイ公式ホームページ内お問い合わせフォームからご連絡ください。

<https://ridge-i.com/contact/>

以上

■株式会社 Ridge-i (リッジアイ) について

株式会社 Ridge-i (東証グロス、証券コード：5572) は、AI・ディープラーニング技術を活用したソリューションにより、経営・社会課題の解決に挑むテックイノベーションファームです。特に、画像解析ディープラーニング、センサーによる異常検知 AI、最適化 AI など様々なデータに対応する AI を組み合わせた「マルチモーダル AI」に強みを持ちます。戦略策定から要件定義フェーズに始まり、現場のコンサルテーションから開発・運用保守まで、投資対効果を実感するまで一気通貫で伴走し、多くの実績をあげています。また社会課題にも積極的に取り組んでおり、SDGs 課題と環境変化を衛星画像から発見する「GRASP EARTH」などで第 4 回から宇宙開発利用大賞を 3 回連続受賞しました。今後も技術とビジネスの高みを追求し、社会・顧客が持続的に効果を実感できる最高峰のソリューションを提供します。

会社名：株式会社 Ridge-i

設立：2016 年 7 月

所在地：東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 438

代表：代表取締役社長 柳原 尚史

資本金：11,609,900 円

事業内容：

- ① AI・ディープラーニング技術のコンサルティングおよび開発
- ② 共同事業、ライセンス、保守モデル、自社開発等によるプロダクトの提供
- ③ 人工衛星データ AI 分析サービスの提供

URL：<https://ridge-i.com>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 Ridge-i 星名、小口

e-mail：pr@ridge-i.com